

福音館書店は、2022年2月、創立70周年を迎えました。

スタートは、戦後間もない1952年。受験用問題集やキリスト教会向け冊子などの製作、販売を手がけていた金沢福音館から、出版部門を独立させる形で、金沢市で創立しました。同年8月に東京に移転した後は、1953年に月刊誌「母の友」を、1956年には月刊絵本「こどものとも」を創刊し、子どもたちと、子どもたちを支える人々に向けた出版活動を開始し、現在まで歩み続けてきました。

これまで支えてくださった皆さまに、改めて心からお礼を申し上げます。これからも福音館書店は良質な出版活動を通じて、子どもたちの未来と社会に貢献してまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



手のマークについて

大きな手と小さな手のマーク。福音館書店の出版物に印刷されている、このシンボルマークに見覚えのある方もいらっしゃるかもしれません。1972年、早川良雄さんによるデザインで作られたものです。手のモチーフには、大人が子どもに絵本を手渡すという願いが託されています。また、手で子どもを抱いて親子で共に絵本を楽しむ姿や、絵本のおもしろさを手をたいて飲む姿も想像できます。そして何よりも「手塩にかけて子どもを育てる」という、古くからの子育ての文化を大切にしたいという思いも込められています。

© Yuriko Yamawaki, Kako Research Institute Ltd., Seichi Horiuchi, Taro Gomi

1960



「こどものとも」で『三びきのこぶた』『かさじぞう』刊行



「こどものとも」で『三びきのこぶた』『かさじぞう』刊行

1961

世界傑作絵本シリーズ
刊行開始



『100まんびきのねこ』刊行

日本傑作絵本シリーズ 創作童話シリーズ
刊行開始



『いはいやえん』刊行

1962



「こどものとも」で『おおきなかぶ』『だいくとおにろく』刊行

1965



「こどものとも」で『くるんぱのようちえん』刊行

1964

「子どもがはじめてであう絵本」
刊行開始



(ブルーナの絵本)

世界傑作童話シリーズ
刊行開始



『エルマーのぼうけん』刊行

1963



「こどものとも」で『ちいさなねこ』『ぐりとぐら』刊行



1977

「インガルス一家の物語」
刊行開始



月刊絵本
「こどものとも 年少版」創刊

「こどものとも」の姉妹誌として2~3歳の子どもたちを対象とした月刊絵本



安野光雅の『旅の絵本』
刊行

その後、続巻が第10巻まで刊行。2022年、『旅の絵本Xオランダ編』でシリーズ完結。

1983

「タンタンの冒険」シリーズ
刊行開始



1995



月刊絵本
「こどものとも 0.1.2.」
創刊

赤ちゃんと一緒に楽しめて、赤ちゃんへ語りかけることばの世界をもっと豊かにすることをめざした月刊絵本

「Do!図鑑シリーズ」
刊行開始



月刊「なくさんのふしぎ」
創刊

21世紀に生きる子どもたちに、自分で感じ、考え、思いを深めてほしいという願いをこめて刊行した小学生のための科学誌

「魔女の宅急便」シリーズ
刊行開始



2021



触ると、点字と触図の盛り上がりがあります
『てんじつきさわるえほん ぞうくんのさんぽ』

「こどものとも」創刊60周年記念出版で、『てんじつきさわるえほん ぞうくんのさんぽ』、『絵巻じたて ひろがるえほん かわ』刊行



「いきものづくしものづくし」
(全12巻)刊行

世の中にはおもしろいもの、不思議なもの、美しいものがある！
「子どもたちの知りたい」を増やす大型絵本

2022

福音館書店
創立70周年
特設サイト

